

機械器具 56 採血又は輸血用器具
管理医療機器、真空密封型採血管（35414000）

LBgard®採血管

再使用禁止

【禁忌・禁止】

＜使用方法＞

- (1) 採血管が室内温度に戻らないうちに採血を行わないこと。
[採血管の温度により採血管内の圧力が変化し、採血管内の内容物等が患者の体内に逆流するおそれがある。]
- (2) 採血管を抜くまで、患者の腕の血管の圧迫を解除したり、動かしたりしないこと。[圧迫を解除した際、あるいは腕の配置によっては静脈血圧が急激に低下し、採血管内の内容物等が患者の体内に逆流するおそれがある。]
- (3) 採血管に血液が流入し始めた後は、ホルダーに押し込むような力を採血管に加えないこと。[採血管内の圧力が変化し、採血管内の内容物等が患者の体内に逆流するおそれがある。]
- (4) 採血終了後、採血管に採血針が刺さったままの状態で駆血帯を外さないこと。[駆血帯を外すことによる圧力の変動により、採血管内の内容物等が患者の体内に逆流するおそれがある。]
- (5) ホルダーは患者ごとの使用とし、使用後は廃棄すること。
[ホルダーに血液が付着した場合は、交差感染のおそれがある。]
- (6) 体外循環回路又は中心静脈から採血は行わないこと。[圧力の変動により、採血管内の内容物等が患者の体内に逆流するおそれがある。]

【形状、構造及び原理等】

本品は、採血管内部にシリカコーティングを施したプラスチック製の滅菌済み真空採血管で、単回使用である。採血管の中には、検体を安定させるための添加物（溶液）が封入されており、放射線で滅菌されている。本品は、真空採血管ホルダーおよび単回使用採血針と組み合わせて使用する。

構成品名	公称容量 (mL)
真空採血管	8.5



【使用目的又は効果】

本品は、血液検査のため、血液検体の採取、輸送又は保管に用いること。

【使用方法等】

1. 室内温度に戻った本品を準備する。
2. あらかじめ手袋を着用する。
3. 採血針をホルダーにセットする。
4. 駆血帯を装着し、穿刺部位を消毒する。
5. 採血針を血管に穿刺し、本品をホルダーにまっすぐ完全に押し込む。
6. 採血の血流が停止したら、直ちに本品をホルダーから外す。
7. 採血直後に本品を静かに10回、転倒混和し、内容物をかくはんする。
8. 連続採血する場合には、ホルダーを固定したまま、新しい本品と取り替える。
9. 採血終了後、本品をホルダーから外した後に駆血帯を外す。
10. 抜針後、止血処置をし、採血針をホルダーから外さずに耐貫通性廃棄容器に適切に廃棄する。

【使用上の注意】

＜重要な基本的注意＞

1. 患者の腕及び採血管が採血中常に下向きであることを確認すること。
2. 翼付針チューブを使用して採血する際は、採血管の位置が上下に動かないようにすること。
3. 採血済の採血管を凍結させないこと。
4. 栓を取り外す時は、内容物が飛散しないように注意すること。

【保管方法及び有効期間等】

＜保管方法＞

本品は、以下の条件下で保管すること。
4℃～25℃

＜有効期間＞

製造日から18ヶ月（上記の保管条件のみ）

【主要文献及び文献請求先】

- (1) 日本臨床検査標準協議会（JCCLS）標準採血法ガイドライン
- (2) 薬食安発第1117001号「真空採血管の使用上の注意等の自主点検等について」（平成15年11月17日、厚生労働省）
- (3) 薬食安発第0104001号「真空採血管等における使用上の注意等の追加等について」（平成17年1月4日、厚生労働省）

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

製造販売業者

エグザクトサイエンス株式会社

TEL: 0120-639-323

外国製造業者（国名）

エグザクトサイエンス（米国）

Exact Sciences (USA)